

た よ り



〒518-0814 伊賀市上友生785番地 TEL&FAX:0595(21)8839

URL:<http://www.iga.ed.jp/igaken> E-mail:iga-ken@iga.ed.jp

連休明けに新型コロナウイルスの感染拡大が危惧されましたが、心配していたような状況にはならず、5月を終えることができます。各学校・園において感染対策に継続して取り組んできたことが大きな要因になっていると思います。

さて、第1学期も後半に入り、今後、体育参観や修学旅行、プール指導等の学校行事や教育活動が多く実施されます。感染対策への配慮は言うまでもありませんが、行事や活動を通して子どもたちが大きく成長する機会でもあります。実りある学習になることを期待しています。



学校・園訪問、ありがとうございました♪

4月からスタートした学校・園訪問も5月27日(金)に終了しました。当センターから事務局長・教育相談員の2名が一日2校ずつ訪問をさせていただきました。校長先生とじっくりお話をさせていただいた後、授業の様子を参観しました。子どもたちの一生懸命学習する姿をたくさんの教室でみることができ、とてもうれしく思いました。また、訪問した際にはていねいに来客を迎えるという心づかいを感じ、そのこともいいなあと思いました。

全学校・園をまわり、特に感じ考えたことを3つ紹介します。

1点目は板書についてです。教室に行った際、授業のはじめ、中、終わりと様々でしたが、45分(50分)の学習の内容や流れがパッと見た瞬間にわかる、さらに言えば、この一限の中でこんなふうに子どもたちは学んできた(いる)、学びを深めてきた(いる)ということが伝わってくる(授業の前半では前半なりに)板書をみた時に、ていねいに授業をされていると感じました。このような授業がどんどん増えていくことを願っています。

2点目は、ここ数年で新任者、経験年数が少ない教職員が激増したと実感しました。各学校・園では学校・園全体で支えながら指導・支援を行っていることを聞かせていただきました。また、コロナ禍ゆえ教育実習ができなかったことや、忙しくて大変な年度当初を必死で乗り越えてきたことなども聞かせていただきました。当センターとしましてもどう支援していくことができるのかを考えさせられる機会となりました。

3点目は、就学前・小学校の接続・連携です。幼稚園での担任の指導・声かけ、子どもたちの活動する姿を見て感動しました。小学校の教員が就学前の指導・活動の様子を参観に行く機会をつくるのが大切だと切に感じました。「接続プログラム」が絵に描いた餅に終わらないように実践的な連携が求められます。

三重県内教育研究所連絡協議会

～所長会・研修企画担当者会・研修会を開催～

5月18日（水）、三重県内教育研究所連絡協議会所長会・研修企画担当者会・研修会が三重県総合教育センターで開催されました。当教育研究センターからも、事務局長・研修員が参加しました。

事務局長が参加した所長会では、三重県内教育研究所連絡協議会の事業報告や事業計画についての議事後、各教育研究所等の方針や課題、令和4年度の研修講座、ブロック別研修について情報交換を行いました。

前半は、コロナ禍での研修講座をどう開催してきたかという点や、新採や若い教職員が激増する中での指導力向上につなげる研修講座の企画、1人1台端末の効果的な活用に関わる研修などが主な話題になりました。

後半は、ブロック別研修の内容についての紹介を行いました。ブロック別研修とは、ブロック（伊賀市は名張市・亀山市とブロックを組んでいます）内の他の教育研究所（センター）の実施する研修講座に参加できる研修のことを言います。亀山市・名張市の該当する研修講座を掲載します。申込方法等、詳しくは、研修ニュースでお知らせしますので、ご確認のうえ、ぜひご参加ください。 ※演題等は変更の場合あり。

◇亀山市教育委員会

○授業づくり【英語教育】

- ・実施日：6月3日（金） 15：00～17：00
- ・場所：亀山市役所 第7会議室
- ・定員：30名（小・中）
- ・講義・演習：「英語科における小中連携のありかたについて」
- ・講師：皇學館大学 准教授 川村 一代さん

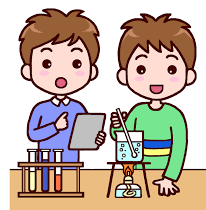
◇名張市教育センター・・・場所はいずれも名張市教育センター

○授業づくり【理科】

- ・実施日：7月28日（木） 9：30～12：00
- ・定員：20名（小・中）
- ・演習：「理科の授業づくり 実験、観察の基礎基本を学ぶ」
- ・講師：名張市教育センター 教育専門員 吉住 昌三さん

○授業づくり【書写】

- ・実施日：8月2日（火） 13：30～15：30
- ・定員：30名（小・中）
- ・実技：「書写指導の基礎基本」
- ・講師：名張市桔梗が丘小学校 教諭 福村 俊夫さん
名張市立梅が丘小学校 教諭 岩森 進さん



○学級づくり

- ・実施日：8月4日（木） 13：30～16：30
- ・定員：100名（小・中）
- ・講義・演習：「子どもも教師も明日も来たくなる学級&授業づくり」
－事例をもとに話し合い高め合う学びの場－
- ・講師：岐阜聖徳学園大学教育学部 教授 玉置 崇さん

○生徒指導【不登校】

- ・実施日：8月5日（金） 10：00～12：00
- ・定員：100名（小・中）
- ・講義・演習：「チームで考える不登校の理解と対応」
- ・講師：三重大学教養教育院 教授 瀬戸 美奈子さん

○授業づくり【小学校外国語活動・外国語科・英語教育】

- ・実施日：8月19日（金） 13：30～16：30
- ・定員：100名（小・中）
- ・講義・演習：「小学校外国語活動・外国語の授業づくり
～小中接続を意識して～」
- ・講師：皇學館大学 准教授 川村 一代さん



○特別支援教育

- ・実施日：8月25日（木） 13：30～16：30
- ・定員：100名（小・中）
- ・講義・演習：「崩れない学級をつくるための秘訣
～発達障がいのある子どもが安心して過ごせる学級づくり～」
- ・講師：桃山学院教育大学 教授 松久 眞実さん

当センターが実施するブロック別研修は以下のとおりです。申込等詳細については、後日案内しますのでよろしくお願いいたします。たくさんの受講をお待ちしています。

また、ブロック別研修を含めた全ての研修講座をホームページ「研修講座案内」にアップしていますのでご確認ください。

◇【学力向上】国語 7月29日（金）13時30分～ 80名

「主体的・対話的で深い学び」を実現するための授業改善

講師：筑波大学附属小学校 教諭 青木 伸生さん

◇【生徒指導】 生徒指導② 8月5日（金）10時～ 60名

真正のエンカウンターを基盤とする集団づくりと個への支援のポイント

講師：大阪成蹊大学 教授 米田 薫さん

- ◇【授業づくり】特別の教科 道徳 8月19日(金) 14時～ 60名
「考え議論する」道徳科の授業～発問の工夫～
講師：岐阜聖徳学園大学 非常勤講師 河合 宣昌さん
- ◇【授業づくり】算数・数学 8月23日(火) 13時30分～ 80名
教え込みの算数授業からの脱却
講師：筑波大学附属小学校 教諭 森本 隆史さん
- ◇【特別支援教育】特別支援教育 8月26日(金) 13時30分～ 100名
支援の必要な子どもを包む学級づくり～崩れた学級から立て直しへ～
講師：桃山学院教育大学 教授 松久 眞実さん
- ◇【ICT活用】 教員 ICT活用指導力向上講習会 9月2日(金) 15時～ 30名
GIGAスクール構想による1人1台端末を活用した協働学習の授業方法について学ぶ
児童生徒が主体的にICTを活用する授業づくり、ICT機器の効果的な活用法、情報モラル指導について学ぶ
講師：三重県教育委員会事務局研修推進課テーマ別研修班 担当指導主事

※ 亀山市・名張市・伊賀市ともに、集合型の研修を予定していますが、今後の状況によっては変更する場合があります。

所長会・研修企画担当者会の後に実施した研修会では、桑名市教育研究所、伊勢市教育研究所、三重県教育委員会事務局研修企画・支援課がそれぞれ研究発表を行いました。各提案発表のタイトルは以下のとおりです。喫緊の課題に沿った発表でした。資料等、ご覧になりたい場合は、伊賀市教育研究センター事務局へ連絡してください。

- ①桑名市教育研究所
「情報活用能力の育成と指導のためのモデルカリキュラム」
「自己の変容を自覚し次の学びに生かす生徒を育てる」
- ②伊勢市教育研究所
「主体的な学びを構築する『振り返り』のあり方～算数科の授業における実践を通して～」
- ③三重県教育委員会事務局研修企画・支援課
「子どもの気持ちに寄り添う関わりの研究～不登校の子どもとの臨床実習を通して～」

雑感：本紙1枚目に書き切れなかった学校・園訪問で感じたことを補足したいと思います。4月から5月にかけて訪問をさせていただいたので、小学校1年生は入学して間もない頃～連休を終え1ヶ月半くらい経った頃でした。ークラスの人数はまちまちですが、授業の様子も様々でした。子どもたちの学習を保障しようとの学級も精一杯取り組まれていました。幼稚園を訪問した際に、年長園児の制作活動をしている様子を参観しましたが、さすが年長さんです、とても落ち着いた中、生き生きと活動していました。幼稚園教育を通して成長する子どもの姿をしっかりと見せていただいていると思います。指導する担任の表情や声かけ、子どもへの接し方、指示の仕方など、学ぶ点がたくさんありました。このような活動の様子を参観し、1年生の指導に生かす、つなげていくことが必要ではないかと思いました。保幼小連絡会を行い、1年生の学習の様子を参観・懇談する機会は毎年すべての小学校で実施していますが、就学前の活動や取組を小学校の教員が見て学ぶ機会も大事だと痛感しました。小学校に入学し新たな学習をしていくこととともに、年長時にできていることが「リセット」されるのではなく小学校で積み上げていくことを大事にしたいですね。ていねいな指導や支援はもちろん大切ですが、「子どもの力はすばらしい!」「任せて見守りたい!」…と思うのです。